

## 平成 26 年度 事業 報告 書

法人の名称 認定特定非営利活動法人 AIDS ネットワーク横浜

### 1 事業の成果

#### ① 一般社会に対する教育、啓発活動

##### ア 第 22 期 ボランティア 学校 開催 事業

エイズの知識をひろめ、予防や啓発を促進することと、電話相談員、ボランティア活動の人材養成をすることを目的に毎年実施しており、専門的な分野を多岐にわたって学習できる内容を展開した。

5 日間、10 講座を開講し、延べ 94 名が参加した。会員外受講者は延べ 9 名で、看護、福祉関係者で、業務に生かすことを目的としていた。

ANY 会員、特に電話相談員には欠くことのできない研修であった。

##### イ エイズ文化フォーラム in 横浜 参加事業

エイズ関連情報を広めるために、かながわ AIDS 文化フォーラムに合わせて、「性感染症について」（伊戸田一朗：新宿 しらかば診療所院長）、「やさしい免疫の話」（堀尾吉晴：本会事務局長）の 2 講座を開講し、約 60 名の参加があった。一般市民の方の参加が多くあり、性感染症や HIV の基礎的な知識の啓発に有効であった。

##### ウ 世界 AIDS デー in Yokohama 参加事業

横浜 AIDS 市民活動センター、横浜市健康福祉局などとの共催で、横浜駅東口そごう前広場において開催。広く一般市民に、HIV・AIDS に眼を向けてもらうことを目的に、会員手製のレッドリボンとエイズパンフレットの配布をし、来場者とともにレッドリボンの製作を行った。併せて、子供にも関心をもってもらうためパズルも用意した。来場者数も多く、HIV、AIDS への関心を高められた。

##### エ 出前講座

高等学校 5 校、中学校 1 校、大学 1、団体 1 より依頼があり、開催した。HIV、AIDS を含んだ、「性の話」への需要が多いが、多くの若者への啓発活動となった。

#### ② 電話相談事業

##### ア 一般電話相談

毎週 2 回、水曜日（18 時～21 時）と土曜日（15 時～18 時）に実施。相談件数はほぼ前年度並みであった。

匿名、無料の相談で、全国からかかってくる。HIV についての疑問や感染不安などに耳を傾けているが、不安によるノイローゼ的な症状を訴える方が多い。20 代から 30 代の若年層の相談件数が多い、10 代の増加も顕著である。

相談員はボランティア学校講座に出席したり、事例検討会での討議に参加したり、外部講座に参加するなど常に研鑽に勤めている。

不安を抱える方々の、不安を軽減する窓口となっているだけでなく、検査に向かう方も多く、予防活動に貢献できている。

### ③ 広報活動

#### ア ニュースレターの発行

186～192号の7回発行した。前年まではボランティア学校の講座の内容・感想、出前講座の内容・反響など、本会の活動の記事を中心に掲載してきたが、より広く一般に向けて我々の活動を知ってもらうことや、HIV/AIDSについての啓発、研修の機会とすべく、各種の研修会や講座の報告、書評、講座の情報を多くした。ホームページにニュースレターをアップしている。

#### イ ホームページ公開、更新事業

ホームページ閲覧者を視野にHIV/AIDSの理解と予防啓発、共生社会に向けての活動を行った。ホームページについては広く閲覧されているようで、問い合わせがあったり、資料請求があったりしている。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 一般社会に対する教育、啓発活動に関する事業

##### ア ボランティア学校開催事業

- ・内 容 HIV、AIDSに関する様々な分野の10講座、講師9名からの講演、実習
- ・日 時 6月～8月
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・従事者人員 延べ20人
- ・受益対象者 一般社会人、本法人電話相談員・会員 94人
- ・支 出 額 208,541円

##### イ AIDS文化フォーラム in 横浜参加事業

- ・内 容 講師2名が2回の講演を実施
- ・日 時 8月3日
- ・場 所 神奈川県民センター
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 一般社会人、学生、本法人会員 58人
- ・支 出 額 41,935円

##### ウ 世界AIDSデー in Yokohama 参加事業

- ・内 容 レッドリボン製作、子供向けパズル遊び、パンフレット配布。  
パズル67家族、リボン製作32名を集客した。他にも、クイズやビデオ上映、マスコットキャラクター活動に協力。
- ・日 時 11月24日(日)
- ・場 所 横浜駅東口
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・支 出 額 23,219円

##### エ 出前講座事業

- ・内 容 中学、高校生に対する講演活動
- ・日時、場所 5月19日(月) 市立東高校(1,2年生) 550名  
6月11日(水) 県立追浜高校(定時2年生) 40名

	7月 7日 (月)	県立横浜桜陽高校 (全校生徒)	830名
	7月 17日 (木)	県立大和南高校 (1年生)	300名
1	2月 4日 (金)	神奈川大学藤本ゼミ	200名
	2月 7日 (土)	横浜国際フォーラム (一般)	10名
	3月 2日 (月)	市立本郷中核 (3年生)	190名
	3月 13日 (金)	県立厚木北高校 (1年生)	275名

- ・ 従事者人員 延べ19人 (打ち合わせ含む)
- ・ 受益対象者 中・高生徒、大学生、社会人 約2,500人
- ・ 支出額 37,327円

## ② 電話相談事業

### ア 一般電話相談事業

- ・ 内 容 一般市民からのHIV、AIDSにかかわる電話相談。
- ・ 日 時 毎週、水 (18:00~21:00)、土 (15:00~18:00)
- ・ 場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・ 従事者人員 延べ193人 (他に事務作業11人)
- ・ 受益対象者 一般市民約726人
- ・ 支出額 265,169円

## ③ ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動に関する事業

### ア ニュースレター発行事業

- ・ 内 容 会員および関係団体に対して、本法人の活動、様々な情報を発信。
- ・ 日 時 年に7回発行
- ・ 場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・ 従事者人員 32人
- ・ 受益対象者 会員および関係団体、一般市民多数

### イ ホームページ公開、更新事業

- ・ 内 容 不特定多数の方を対象として、ホームページを随時更新し、ニュースレターや、様々な情報を公開。
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・ 従事者人員 11人
- ・ 受益対象者 一般市民多数

- ・ ア、イの支出額計 146,707円